

総合計画審議会委員の意見反映状況

各委員からのご意見のうち、基本構想案の段階で反映したご意見については、以下のとおりです。具体的な取組については、基本計画等に反映します。

●第1回審議会における意見と構想案への反映

高橋(知)委員	○以前、「こども」の表記について統一した方が良いのではという話があったが、恐らくこちらが意図している統一性と、見る側にとっての統一性が違って、見る側にとってはわかりづらいのではないかとということで、改めて、誰が読んでもわかりやすい表記が良いのではないかと。 ⇒P2、3、5 まちづくりの柱・基本目標3・4の子どもの表記を統一 ○基本目標5の防災について、富谷市は情報発信も含めてすぐに対応していることを考えた時に、「安心安全で誰もが暮らしやすいまち」という中に富谷市が取り組んでいることがしっかりと書き込まれていても良いのではないかと。例えば、「情報をしっかりと発信しています。これからも発信していきます。」という文言を盛り込んでどうか。 ⇒P6 基本目標5 2～3行目に追記 気候変動に伴い頻発する大雨や暴風、猛暑などの自然災害や大規模地震の発生などから市民一人ひとりの生命と暮らしを守るため、市民への情報発信を継続するとともに、市民の防災意識の向上や、自助・共助・公助を着実に進め、市民・地域・行政・関係機関が連携して防災対策の充実を図ります。
菅原委員	○基本目標2の公共交通のところであるが、やはり市民の皆さんの生活の利便性や、活動の範囲を広げるといった日常生活の上でも、公共交通の利便性の向上というものは本当に大事なところであると思う。現在、富谷市でも様々な検証を行いながら公共交通の課題に取り組まれているという話があったが、「利便性の向上」という一言に尽きるとは思いながらも、この一言でおさめてしまうのはどうなのか。これからの10年間というところで、もうひと工夫は無いものかと思ったところである。 ⇒P4 基本目標2 6～9行目に追記 また、市民の日常的な移動手段として重要な役割を担う公共交通は、新たな基幹公共交通システムの整備検討や、利用者のニーズに対応した市民バスの運行など、誰もが利用しやすく持続可能な公共交通サービスの実現を目指す。 ○基本目標7の「協働でつくる持続可能なまち」のところであるが、「市民が主体的に活動し、市民が主役のまちを目指す」というフレーズはとても良いと思うし、それを基本として、これからまちづくりを進めていくところが十分伝わるのではないかと。加えて、「市民の意見を市政に反映する」というところは重要かと思うが、市民協働という意味では、市側が市民の声を聞いて取り組むというだけではなく、市民が主体的に「市民自らがまちづくりを考え、行政と一緒に取り組む」ということもすごく大事であると思う。 ⇒P5 基本目標4 4行目に追記 併せて、市民の意見を市政に反映できるよう、これからも市民の声を大切に、市民と共にまちづくりに取り組めます。

村上委員	○将来人口については、やはり人口を増やすための施策を考える必要があると思う。私としてはやはり緑と自然の中にまちがある田園都市構想、住宅地もありながら自然とともに生きていける、そして心も健康になるまち。そういう部分では欠かせないものが森林だったりすると思うので、その森を大事にしていきたいことは掲げていきたいと思っている。 ⇒P6 基本目標6 3～4行目に追記 本市の良好な自然環境を次世代に引き継ぐため、継続的に市民への普及啓発活動に取り組むことにより、市民一人ひとりの地球環境問題に対する意識の向上や、生物多様性への理解促進を図り、自然との共生を目指します。
小松委員	○基本目標6の中に「生物多様性の理解促進」とあるが、住宅を増やしたり、自然を削ったりすると、野生動物の住むところなくなるくらい開発されてしまっているのではないかという、私たち農家にとって心配な話が多々ある。太陽発電についても再生エネルギーとして導入することに関しては良いとしても、自然、環境への影響については少し心配だと思うところがある。<u>理解促進を図るということも大事であるが、もう少し開発に向けて生物たちと共存できるような取組を考えてほしい。</u> ⇒P6 基本目標6 3～4行目に追記 本市の良好な自然環境を次世代に引き継ぐため、継続的に市民への普及啓発活動に取り組むことにより、市民一人ひとりの地球環境問題に対する意識の向上や、生物多様性への理解促進を図り、自然との共生を目指します。